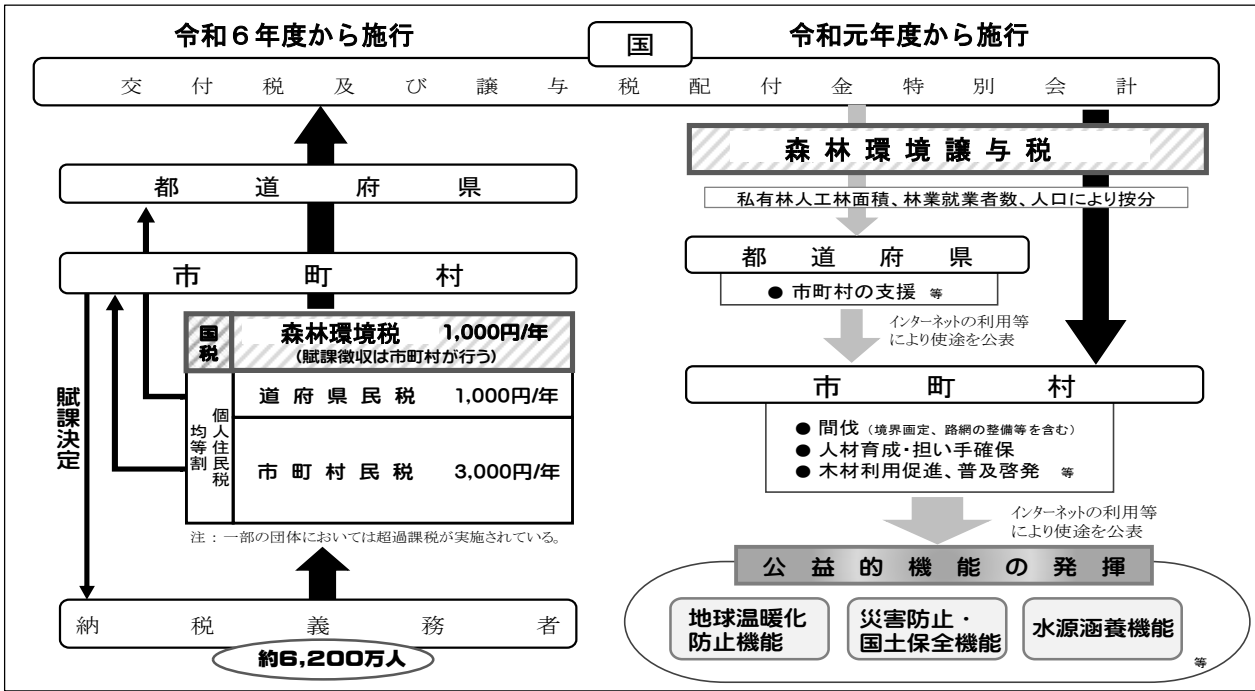


令和元年度の県内の森林環境譲与税の活用について

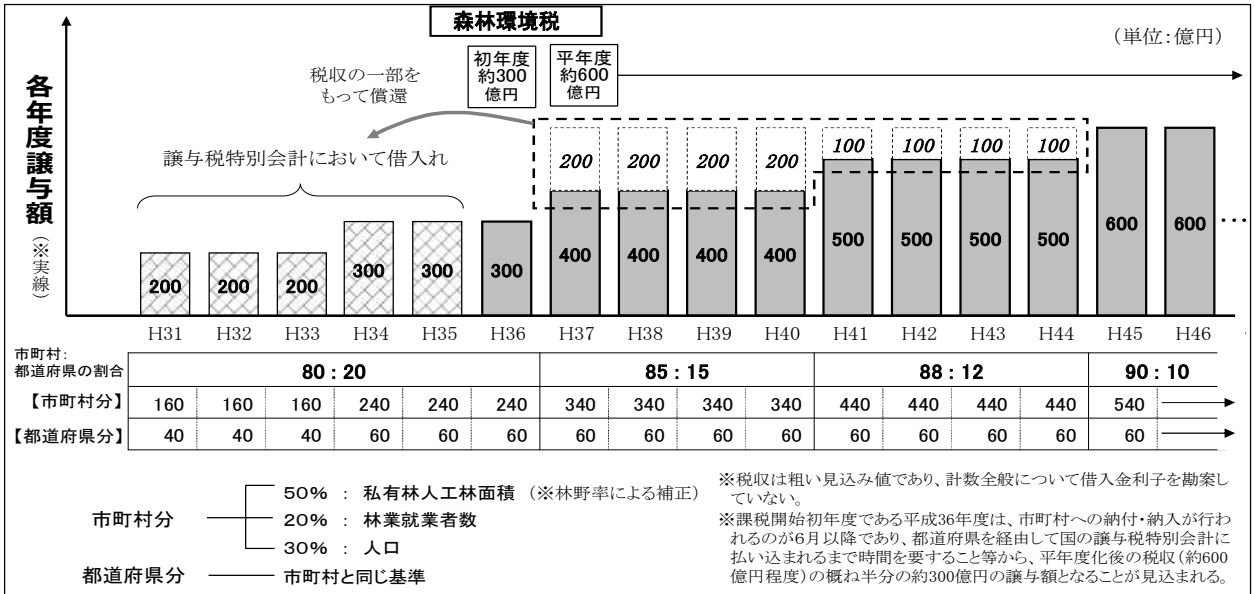
令和元年 12月 11日
千葉県農林水産部森林課

1 森林環境税及び森林環境譲与税

(1) 税の仕組み



(2) 各年度の譲与額と市町村及び都道府県に対する譲与割合並びに譲与基準



(3) 県内市町村及び県への配分試算額 (年額)

R1～ 市町村 31 千万円・県 8 千万円、R4～ 市町村 47 千万円・県 12 千万円、
… R15～ 市町村 105 千万円・県 12 千万円

(4) 使途

市町村 : 間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てる
都道府県 : 森林整備等を実施する市町村の支援等に関する費用に充てる
(上記の範囲内において、幅広く弾力的に活用することが可能とされている)

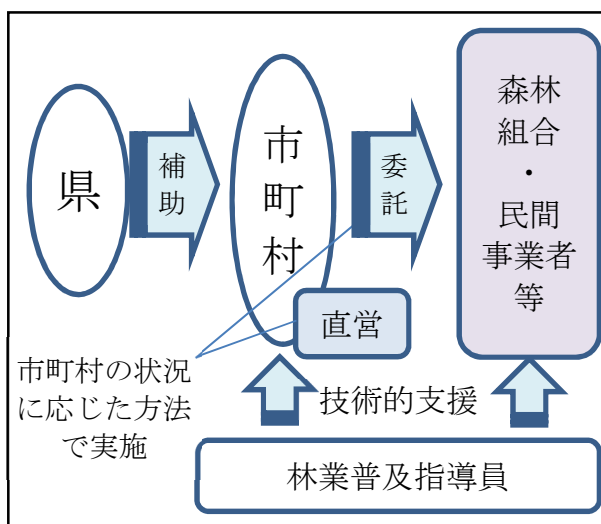
2 県の活用状況

(1) 森林整備

① 森林整備事前準備モデル事業

森林整備に向けて計画作成や森林所有者の意向調査等の事前準備を実施する市町村を支援し、他の市町村の参考となるマニュアルを作成する。

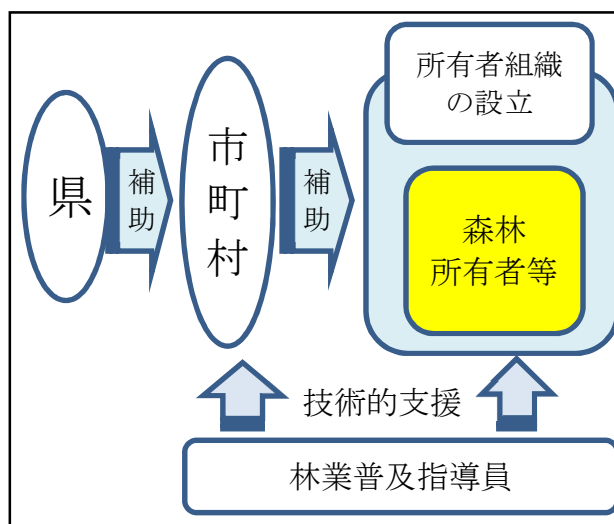
(4 市町村への補助)



② 森林経営管理集落支援モデル事業

地域にモデル地区を設定し、森林所有者組織の設立と所有者組織による森林整備に向けた取組を、総合的に支援する。

(4 市町村への補助)



③ 森林クラウドの保守管理等

④ サンプスギの無被害森林の調査（溝腐病の被害が少ない原因の調査等）

(2) 担い手対策

① 林業事業体が行う研修等支援

② 里山活動団体間の連携推進（総合窓口運営、研修・イベント開催等）

(3) 木材利用促進

① 公共建築物等の内装の木質化等への助成

② 公共建築物等への県産木材活用促進に向けた技術支援

③ 県産木材の流通実態や市場ニーズ等の調査

④ 県産木材の普及啓発（木育の推進）

3 市町村の活用状況

(1) 市町村の使途（令和元年9月現在）

令和元年度の 使途	市町村数	基金積立の 目的	市町村数
森林整備	11(20%)	森林整備	25(46%)
担い手対策	3(6%)	担い手対策	4(7%)
木材利用促進	6(11%)	木材利用促進等	25(46%)
普及啓発	6(11%)	執行残額積立	3(6%)
譲与税活用計 *1	20(37%)	基金積立計 *1	47(87%)
基金積立	47(87%)		
うち基金積立のみ *2	34(63%)		

*1 複数の使途を検討している市町村があるため、合計数と各使途の数の計は一致しない。

*2 基金積立の他、森林クラウド利用料のみ支出する予定の市町村数を含む。

(2) 市町村の森林整備の取組事例

- ・ 森林所有者へのアンケート調査を実施し、その結果をもとに施策を検討。
- ・ 森林整備の方針や長期計画策定を行う業務委託を発注。
(県の「森林整備事前準備モデル事業」により業務委託費を補助)
- ・ 各市内のモデル地区において森林管理組織の準備会を立ち上げ、地区内の森林所有者の意向の取りまとめを実施。
(県の「森林経営管理集落支援モデル事業」により組織の活動を補助)